

一九八三年十二月二十五日
発行



第 67 卷 第 1 号

史学・地理学・考古学

論 説

- 秦帝国形成過程の一考察……………間 瀬 取 芳 (1)
——四川省青川戦国墓の検討による——
- イラン立憲革命におけるラシュト蜂起……………黒 田 卓 (34)
- ローマ皇帝の哲学者弾圧について……………南 川 高 志 (76)
- 世紀転換期前後のバイエルン中央党の動向……………竹 中 享 (108)
——農民運動への対応をめぐって——

研究動向

- 英米における中国中世貴族制研究の成果と課題……………ジ ョ ン = リ (131)

紹 介

- A. M. Piemontese, *Bibliografia italiano dell' Iran (1462-1984)* (羽田正)
- 川崎寿彦著『庭のイングランド—風景の記号学と英国近代史—』 (井野瀬 久美恵)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

る自然風庭園へと、独自の発達を遂げるのである。この英・仏の造園史の相違は、その後の両国の政治史の違いと密接に結びついていた。その詳察をも含めて、第八章では、〈自然〉に軍配を挙げたビュリタンの庭園論の代表として、ミルトンの『失楽園』に描かれたエデンが考察される。庭園的形式としては挑戦的なまでに反バロック的であったエデンは、後の自然風庭園の造園理論家たちのバイブルとなっていくのである。

英文学史の上で新古典主義時代といわれる一八世紀に入ると、造園における〈自然〉の勝利は、いっそう明確になっていった。第九章では、一七一〇年代初頭の造園意識の向上を背景に、アディソンとポープの庭園論が紹介されている。彼らはともに、「囲う」というあからさまな〈人工〉を隠しつつ、やはり「囲う」という〈自然〉の庭を考えていた。特に、第十章で分析されるポープの庭は、自然風庭園への過渡期に位置しており、そこに設けられた洞穴の存在は、政治的な庭を科学的なものとしていた。それは、同時代の科学的知識に素人ながら熱心な関心を抱く「ヴァーテュオー

ソ」の庭園論としても興味深い。

第十一章では、フランスの思想家、ヴォルテールやルソーの庭園論が論じられる。曲線と不規則さを強調した一八世紀後半のイングランドの庭は、より自由で開かれた市民社会の記号としての側面を強め、ついには、フランスの啓蒙思想家たちからも学ばれるに至ったのであった。最後に、著者は、一九世紀のロマン派の風景詩人たちは、自然のような庭を捨てて、庭のような自然へと入っていく、という展望で、本書を結んでいる。

英文学を中心に、適切な訳と注、及び、豊富な図版や写真を用いて庭の変遷を紹介した本書には、文学の中に歴史を読み込んでいくという謎解きにも似たおもしろさがあり、歴史書としても一読に値する書である。また、これまで歴史家たちの意識の外にあった部分に焦点を当てて新しい歴史像を築こうとする近年の社会史の動向を、十分に反映した書でもあろう。ただ、著者の主たる関心が庭の「政治的」暗喩にあるために、エピソードにあるように、一九世紀以降のイングランドでは、庭の伝えるメッセージは沈黙してしまうことになる。しか

しながら、英国人の心に深く根をおろした庭は、現在、別のメッセージを伝えるものとして、一九世紀の民衆生活史の中で見直されていることを、最後に付加しておきたい。

(A5判 三六三頁 一九八三年五月
名古屋大学出版会 三八〇〇円)
〔井野瀬久美恵 京都大学大学院生〕

受贈 図書

(一九八三年三月二四日～五月三〇日)

史学論集(駒沢大学大学院史学会) 一三

古田武彦著、邪馬台国の方法・邪馬台国の

展開(駿々堂出版社)

韓国史研究彙報(ソウル特別市国史編纂委

員会) 三八・三九

社会科学(朝鮮社会科学院図書館) 一

Korea Today(朝鮮社会科学院図書館)

一・二

東方学志(延世大学) 三〇

人文学(同志社大学人文学会) 一三八

文化学年報(同志社大学文化学会) 三二二

産業社会論集(立命館大学産業社会学会)

三四

経済経営論集(龍谷大学経済経営学会)

二二一—四

鹿児島経大論集（鹿児島経済大学学会）

二二一—四

神道史研究（八坂神社神道史学会） 三〇

一四・三一—一

駿台史学（明治大学駿台史学会） 五八

木原武雄著、太宰府管内国府の研究（著者）

文化（東北大学文学会） 四六—三・四

アジア・アフリカ文化研究所研究年報（東洋大学アジア・アフリカ文化研究所）

一七

紀要（中央大学文学部） 二八

教養部紀要（徳島大学） 一八

人文論叢（福岡大学総合研究所） 一四—

四

総合研究所報（福岡大学総合研究所） 六

一

龍谷史壇（龍谷大学史学会） 八一—八二

人文論叢（東京工業大学） 八

石炭研究資料叢書（九州大学石炭研究資料センター） 四

四

東京商船大学研究報告（東京商船大学）

東海史学（東海大学史学会） 一七

東北学院大学論集（東北学院大学文経法学

会） 一三

社会科学論叢（長崎大学教育学部） 三二

神戸学院法学（神戸学院大学法学会） 一

三一—二

黒人奴隷法形成とその背景（福本保信）

文理論集（西南学院大学学術研究所） 二

三一—二

同朋大学論集（同朋学会） 四六

人文学部紀要（茨城大学人文学部） 一六

人文学科論集（茨城大学人文学部） 一六

隼人文化（隼人文化研究所） 一二

岡崎市史研究（岡崎市史編纂委員会）

経済論究（九州大学大学院経済学会） 五

六

日本文化研究所研究報告（東北大学日本文化研究所） 別巻二〇

経済論究（九州大学大学院経済学会） 五

札幌大学教養部紀要（札幌大学教養部）

二—

神道学（神道学会） 一一七

国立歴史民俗博物館研究報告（国立歴史民俗博物館） 二

仏教文化研究所紀要（同朋学園） 四

東北大学文学部研究年報（東北大学文学部）

三二

中国史研究会編中国史像の再構成（文理閣）

各川稔著、フランス社会運動史（山川出版）

富山大定人文学部紀要（富山大学人文学部）

六

富山県史史料編 七

富山県史通史編 七

田村誠一著、古代戦乱期の日本（著者）

渡来人の寺（奈良国立文化財研究所飛鳥資料館）

皇学館大学紀要（皇学館大学） 二—

明代西南民族史料（東洋大学アジア・アフリカ文化研究所） 一

文明（東海大学文明研究所） 三七

紀州経済史・文化史研究所紀要（和歌山大学） 三

豊後国田染荘（大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館）

東洋学文献目録（京都大学人文学部研究所）

一九八〇

東洋大学文学部紀要（東洋大学文学部）

三六

歴史教育論集（慶北大学師範大学歴史教育科） 三・四

世界歴史（中国社会科学学院世界歴史研究所）

一九八三—一・二

民族研究(中国社会科学学院民族研究所)

一九八三—二

宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報(宇佐風土記の丘歴史民俗資料館) 一九八一

バックナンバーのお知らせ

『史林』のバックナンバー在庫は次の通りです。お申込は必ず前金にて、郵送の場合送料(各冊五〇円)を添えて下さい。

- 三三卷一号 五一卷二〜六号
 - 三四卷一・二・四号 五二卷一〜六号
 - 三八卷二・四号 五三卷一〜六号
 - 三九卷六号 五四卷一〜五号
 - 四〇卷六号 五五卷一〜六号
 - 四二卷五号 五六卷一〜六号
 - 四三卷三号 五七卷一〜六号
 - 四四卷六号 五八卷一〜六号
 - 四六卷四・五号 五九卷一〜六号
 - 四七卷一〜六号 六〇卷一〜六号
 - 四八卷一・三号 総目録
 - 四九卷三・五・六号 六一卷〜六六卷
- 頒価は六〇巻二号までは八〇〇円、六〇巻三号〜六七巻二号は九〇〇円、六七巻三号以降は一〇〇〇円です。なお六〇巻六号

までの総目録は頒価二二〇〇円送料七〇円となっております。

会費値上げについてのお知らせ

本会では過去四年間、会費を四、九八〇円に据置き、諸経費を節減し、会員の皆様に負担のからぬよう努力してまいりましたが、諸物価高騰の折、雑誌一冊当り経費も上がり、このままでは史林刊行に支障をきたすにいたりしました。このため、やむなく一九八四年五月発行の六十七巻三号より一号当り九二〇円に値上げすることになりました。従って今年度の会費は五、三四〇円となり、来年度以降の年会費は五、五二〇円となります。

右のように改定いたしましたので、会員の皆様の御諒承を頂きますよう、お願い申し上げます。なお、会費は前納制になっております。本会の活動はすべて会費に依存していますので、前納に御協力下さいますよう、あわせてお願いいたします。

一九八四年一月一日

史学研究会

編集後記

窓の外はしんしんと雪が降り続いていきます。今年はどうの程度、雪景色を見たことでしょうか。このような凍てつく夜は炬燵で暖まりながら史林を読むのには春の足音が聞こえていることでしょう。発行の遅れを深くおわび申し上げます。

史林六七巻一号をお届けいたします。今号も四本の論説と一本の研究動向をお送りすることができました。力作が揃っていますのでどうか充分に御吟味下さい。

(隆)

一九八三年十二月三日印刷 定価九〇〇円
一九八四年一月一日発行

史林 第六七巻第一号(通巻第三三三号)

発行人 史学研究会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部

理事長 岸 俊 男
振替京都七二五二五五番

印刷所

中村印刷株式会社
京都市下京区七条御所ノ内中町五〇

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXVII No. 1 Jan. 1984

CONTENTS

Article :

- Tombs of Warrior States Period in
Haojiaping 郝家坪, Qingchuan County
青川县, Sichuan Province 四川省.....K. Mase (1)
- The Uprising of Rasht in the
Iranian Constitutional RevolutionT. kuroda (34)
- The Philosophic Opposition under the
Early Principate.....T. Minamikawa (76)
- Die bayerische Zentrumspartei und die
Bauernbewegung um die
JahrhundertwendeT. Takenaka (108)

Note :

- Achievements and Perspectives of the
Studies on the Chinese Medieval Aristocracy
in Anglo-American AcademiesJ. Lee (131)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369